



町報きよなん

KYONAN

3

Mar.2026
No.692



鋸南町地域おこし協力隊活動報告会の開催

町では、地域外からの人材を積極的に受け入れ、新たな視点や発想による地域活性化に取り組むため、地域おこし協力隊が活動しています。今後の活動に向けて交流・連携の強化を目的に活動報告会を開催します。今年は座談会方式での開催となります。鋸南町に移住してきた方々ならではの話や、長年鋸南町に住んでいては気付かない発見があります。ご参加いただき、質問をしに来てください！

日時 3月18日(水) 午後1時30分～

場所 役場3階 大会議室

座談会 A班:鏡、静(有害鳥獣対策)

B班:三浦、小鶴、坪木(農業振興)

C班:倉持、塩崎、楠木(移住定住、広報広聴)

※小池隊員は欠席



プログラム

午後 1時30分	開会
1時40分～	地域おこし協力隊とは
1時50分～	座談会 A 班
2時15分～	休憩
2時20分～	座談会 B 班
2時45分～	休憩
2時55分～	座談会 C 班
3時20分～	休憩・移動
3時30分～	懇談会
4時20分	閉会

活動報告会に先立ち、地域おこし協力隊を紹介します！

◆活動内容
・箱罠、くくり罠を用いた有害鳥獣捕獲
・捕獲した有害鳥獣を活用したペットフードの作成

◆自己紹介
東京都出身。動物が大好きなことをきっかけに有害鳥獣として捕獲された動物達の命をゴミにするのではなく、循環させたいと思います。

◆名前
鏡 かがみ
沙織 さおり



◆活動内容
・箱罠、くくり罠を用いた有害鳥獣捕獲
・鳥獣による被害調査と対策の実施
・農家や町民との意見交換

◆自己紹介
大阪府出身。食肉加工職人。食肉の原点を探し狩猟の世界へ、猟師としての「いのちの循環」を追及する。
趣味は筋トレ。

◆名前
静 しずか
慎太郎 しんたろう



◆活動内容
・有害鳥獣の捕獲(実施隊、銃猟、箱罠、くくり罠等による捕獲活動)
・捕獲後の適正処理の推進
・鋸南町有害鳥獣対策協議会の事務局支援等

◆自己紹介
神奈川県出身。前職は放送局職員。鍼灸マッサージ師ほか免許や資格を複数所持。

◆名前
小池 こいけ
貴久(OB) たかひさ





◆名前
みつら 三浦 幸子 (OG)

◆自己紹介

大分県出身。建築の仕事しながら「地域食材ハンター通信」記者をしています。米、粟、大豆の自然農を続けています。

◆活動内容

- ・肥料を施さず土の力のみで作物を育てる
- ・「安房の粟」デザイン
- ・鋸南町の食いしん坊を追いかけ、この地の恵みを再確認しながら、食いしん坊の輪を広げる



◆名前
こまつ ひろこ 小鶴 博子 (OG)

◆自己紹介

白井市出身。規格外などの理由で活かしきれない農作物があることを知り、その価値をつなぎたいと考えています。

◆活動内容

- ・規格外野菜等を活用し、おむすびやピクルス等の試作品作りおよび試験販売を実施
- ・地元農家の方々から、お米・野菜・果樹等の栽培方法を学ぶ



◆名前
つぼき 坪木 舞衣

◆自己紹介

木更津市出身。生まれ育った千葉の耕作放棄地を開拓し、花畑を作りたいと思い、現在奮闘中です。

◆活動内容

- ・花農家の研修
- ・アップサイクルポタニカルキャンドルワークショップの実施
- ・エッセンシャルオイル製作
- ・農園を始めるための拠点の耕作放棄地開拓



◆名前
くらもと まさはる 倉持 政晴 (OB)

◆自己紹介

大阪府出身。東京で映画・音楽・アートの企画やイベントスペース運営の仕事をしていましたが、コロナ禍でフリーランスとして独立。

◆活動内容

- ・浮世絵を使ったイベントの企画、実施
- ・有害鳥獣を使った展覧会の企画、実施
- ・音楽イベントの企画、実施



◆名前
しおがき ゆすけ 塩崎 雄士郎

◆自己紹介

埼玉県出身。趣味は釣り、運動、格闘技観戦。鋸南町の魅力を少しでも多くの方に届けられるよう頑張ります！

◆活動内容

- ・空き家の調査、活用提案
- ・空き家と移住希望者のマッチング
- ・SNSでの移住促進に関する動画の撮影、編集、投稿
- ・移住相談



◆名前
くすき かおり 楠木 かおり

◆自己紹介

奈良県出身。自然環境保全活動やオフグリッド生活などに興味があります。

◆活動内容

- ・町ホームページの充実化
- ・町報おしらせ版作成、町報きよなん記事作成（みかえりズームアップ・地域おこし協力隊通信など）
- ・町公式SNSの更新
- ・取材活動など

ターリニユールオープン！



ついに、道の駅きよなん観光物産センターの改修工事が完了しました。

隣接する菱川師宣記念館との親和性を意識し、これまでとは一風変わった「やぐら茶屋」として、既存建物前面の改修およびパーゴラ付きの木造デッキを新設し、テーブルや腰かけ、飲食もできる休憩スペースがある空間になりました。

観光物産センターでは、カフェ・食事処や野菜、クラフトビール、洋菓子などを販売しています。東京湾に面しているため、夕日スポットとしても非常に人気があります。

これを機に、海の香り漂う観光物産センターへ、ぜひ足を運び一新された快適な休憩スポットを堪能してみたいはいかがでしょうか。

新店舗の紹介

MIKAERI BIJIN Cafe



▲甘酒入りいちご美人スムージー

発酵食とグルテンフリーを取り入れた和風カフェ。
おすすめは、鋸南町産のお米を使用した甘酒入りの「美人スムージー」。
季節のフルーツと合わせ、飲みやすく仕上げています。
そのほか、腸活を意識した体にやさしい和スイーツに加え、発芽玄米のおにぎりなどの軽食もご用意しています。

営業日 午前 10 時～午後 4 時
定休日 月曜日
Instagram @mikaeri.bijin.cafe



あわ海月堂

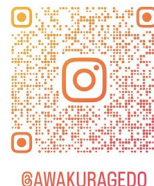


▲ジビエホットドック

安房地域内外の人がつながれる場を作り、鋸南の魅力を発信するカフェ併設のお土産屋。

安房の猪粗挽きミンチ、塩麴、ローズマリーの無添加手作りソーセージを使ったホットドックや、安房の無農薬レモンとバタフライピーティーのレモネードをご用意しています。

営業日 午前 10 時～午後 5 時
定休日 月曜日、木曜日
☎ 050-8888-3924





リニューアルオープンイベント

観光物産センターリニューアルに伴い、オープンイベントが2月21日（土）に行われました。当日はもち投げや特別記念きっぷの提供などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。観光物産センター店舗から試飲や試食も提供され、各店舗の魅力再発見にも繋がりました。

講演会



房日新聞にも連載した「真潮の河」の著者である夢酔 藤山氏による講演会が行われました。

夢酔 藤山氏からは執筆にあたっての秘話や苦労話もありました。参加者たちは、終始、夢酔 藤山氏の話に引き込まれている様子でした。

試食試飲



各店舗からの試食や試飲を通じ、来場者からは「次は、家族や友人と一緒に来てみたい」などの声があり、店舗からも「店を知ってもらおう大変良いきっかけになった。」「今後の来店に期待したい。」と双方にとって明るい声が多い賑やかなイベントとなりました。

第65回鋸南町青少年健全育成柔剣道大会

第 65 回鋸南町青少年健全育成柔剣道大会が鋸南中学校を会場に開催され、総勢 234 名が出場しました。

剣道の部には36チームが参加し、小学生の部で安房鋸南剣友会が、中学生女子の部で鋸南中学校と館山第一中学校との合同チームが見事優勝を果たしました。



柔道の部は9団体が参加し、世界選手権大会や全日本大会での優勝経験のある秋本 啓之^{あきもと ひろゆき}さんを講師に、投げ技の講習会などで技術の向上に取り組みました。



鋸山及び周辺地域の振興に関する連携協定の締結

富津市、鋸南町及び東日本旅客鉄道株式会社千葉支社は、相互に連携・協力し、三者が有する資源を有効に活用した取組みの推進により、鋸山及び周辺地域における持続可能な地域づくりを通じた地域振興を図るため、1月28日に「鋸山及び周辺地域の振興に関する連携協定」を締結しました。

この一環として2月13日、14日に東京駅で「鋸山魅力発信フェス」を開催し、大変盛況となりました。



▲鋸山魅力発信フェスの様子

コミュニティ助成事業で大門東班の祭礼屋台を修繕

宝くじの社会貢献事業として宝くじ受託事業収入を財源に実施するコミュニティ助成事業で、本郷区大門東班の祭礼屋台を修繕しました。

この事業は地域コミュニティ活動の充実・強化を図るため、(一財)自治総合センターから250万円が助成されています。



地域おこし協力隊の倉持さんが退任しました



地域おこし協力隊として活動した倉持 くらもち 政晴 まさはる さん (移住定住促進担当)が1月29日に退任し、白石町長から感謝状を贈呈しました。

令和5年1月30日の着任以降、イベントや作品展、移住を検討している方へのガイドツアー等を企画し活動されました。

退任後は引き続き町に定住し、地域おこし協力隊として取り組んできた活動を継続しながら、地域の魅力発信や移住定住の促進に関わっていく予定です。

南房総ライオンズクラブが寄付

南房総ライオンズクラブは地域をよくするために様々な活動をし、また地域の自治体に寄付もしています。鋸南町にも昨年寄付をいただき、いただいた寄付金で大型絵本を購入いたしました。

購入した大型絵本2冊は中央公民館の子育て広場で楽しめます。

富永教育長は、「本は心の文化」とも言われます。子どもたちの情操教育に役立たせていただきます。」とお礼の言葉を述べました。



▲富永教育長と南房総ライオンズクラブ神作会長

鋸南町卓球交流大会が開催



1月25日に町B & G海洋センター体育館で町スポーツ協会主催の鋸南町卓球交流大会が開催されました。

男女合わせて31人の参加者があり、ゲームに応援に1日気持ちの良い汗を流しました。

入賞選手(敬称略)

優勝	池田 尚平	(町スポーツ協会)
準優勝	廣田 智己	(安房西高校)
第3位	能重 蓮	(富山中学校)
第3位	小島 竜一	(町スポーツ協会)

エコキャップ運動 回収量410kg

日頃、ペットボトルキャップの回収にご協力いただきありがとうございます。昨年の回収量は410kgとなり、キャップをリサイクルすることで、約1,292kgのCO2排出を抑制することができました。

回収されたペットボトルキャップは、再生プラスチック原料へリサイクルし、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育など様々な社会貢献活動にあてられます。引き続きご協力をお願いします。

回収場所 役場、中央公民館、鋸南町社会福祉協議会、鋸南小学校正門前駐車場内資源ごみ集積場、笑楽の湯
※訪問回収は行いませんので、上記の回収場所にお持ちいただくようお願いします。

お願い ●飲料水のペットボトルキャップのみ回収しています。調味料や漂白剤・洗剤の蓋、内側にプラスチック以外のものが使われているもの、金属製のものなどは混ぜないでください。

●シールなどが貼られているものは剥がしてください。

問合せ先 建設水道課建設環境室 ☎0470-55-2133



安房地域の解体工事お任せください

建物全体から部分的な解体まで

- ・倉庫・物置
- ・プレハブ小屋
- ・庭石・ブロック塀
- ・カーポート
- ・樹木の撤去まで

安心 丁寧 親切

AA (株) 安房解体

お見積り・ご相談は無料です。土日祝日も対応できます。 館山市館山41-6

[TEL]0470-28-5205 [HP]https://awakaitai.com/

身体の

痛み

違和感

不調

ありませんか。

お悩み・お困りの方のお力になれるよう！！
親切・丁寧をもっと！！
精一杯、施術いたします！！



秋山訪問はり・きゅう・整体院
秋山裕宏 鋸南町竜島275
TEL:090-8981-7890



広
告

令和8年度 資源回収

鋸南町PTA連絡協議会では、古新聞、チラシ、アルミ缶の資源回収を行っています。収益金は学校の施設整備や図書に活用されています。皆さんのご協力をお願いします。

1. 新聞・チラシの回収(毎月第1水曜日)

雨天時は回収を中止します。中止の際は防災行政無線でお知らせします。

実施予定日

4月1日	10月7日
5月6日	11月4日
6月3日	12月2日
7月1日	1月6日
8月5日	2月3日
9月2日	3月3日

出す時間 午前7時～9時

- ※時間厳守でお願いします。
- ※新聞・チラシ以外は回収しません。

地区	回収場所
本郷	大門橋・熊野神社・旧城西入口・和見橋
両向	両向青年館・小学校正門前駐車場・田子コミセン・市部瀬集乳所跡
勝山学園	勝山学園前
田町	鳥政前・田町公民館
岩井袋	田村商店前・浅間神社前
内宿・仁浜	トンネル脇駐車場・浜見小屋・仁浜青年館・大黒山入口・法福寺前
町	勝山神社・商工会館前
竜島1	二柱神社・勝山交番脇・元消防小屋
竜島2	小澤さん宅横・神明神社前・漁民館前
佐久間	旧佐久間小学校校門前
保田	すこやか・消防団第3分団詰所脇・消防団第4分団詰所脇・小保田コミセン

2. アルミ缶の回収(常時)

※回収場所は、令和7年度と変更ありません。

水洗いし、つぶしてビニール袋に入れてください。
※アルミ缶以外は回収しません。

回収場所

- 【鋸南小学校】小学校正門前駐車場
- 【鋸南中学校】駐輪場



千葉県LINE公式アカウント ご登録のススメ



友だち登録&受信設定で、県からの生活に役立つ情報を見逃さずにキャッチすることができます(◀登録は二次元コードから)

3タブ 21 項目の機能があなたの生活を便利にサポート!



- ✓選んだ市町村の災害情報が即時に受け取れる!
- ✓子育て応援電子版チーパスもここから!
- ✓ほしい情報だけを選んで受け取れる!

情報を受け取るには必ず受信設定を行ってください。

問合せ先 千葉県庁報道広報課 ☎ 043-223-3785

大人向け農業体験の開催について

農業に興味がある方、農業について深い知識を得たい方、作った野菜を直売所に出荷してみたい方など、この機会に野菜づくりを始めてみませんか？今年度はピーマンの仲間であるバナナピーマンの栽培を体験します。

日時 4月18日(土) 午前10時～

※雨天の場合は4月19日(日)

※全4回を予定しています。収穫は7月頃の見込みです。

場所 鋸南町奥山地先

対象者 町在住の成人の方

集合場所 役場

参加費 無料

定員 10人 ※定員に達し次第締切

申込期限 4月10日(金)

次の電話番号または二次元コードからお申込みください。

問合せ先 地域振興課農林水産振興室

☎0470-55-4805



まちづくり支援事業補助金の申請団体を募集

「魅力的で活力ある鋸南」を創造するために、町民の皆さん自らが取り組む事業に対し、まちづくり支援事業補助金を交付します。この補助金を活用し、「新しい事業をはじめたい」「事業をより発展させたい」という団体を募集します。

対象事業 次のいずれかに関連する事業

- ・地域資源を活用した地域活性化に資する事業
- ・特産品開発やその販売促進事業
- ・環境や景観の保全または美化など、他のモデルとなる事業

対象団体 ・構成員が5人以上で過半数が町内に在住している団体

- ・現在活動している場合は、上記に加えて資質の向上を目的に活動している団体

補助額 10万円以内

※単年度ごとで、継続して3か年度を限度

応募方法 申請書類に必要事項を記入し、総務企画課へ持参または郵送してください。

※申請書類は、町ホームページ及び総務企画課窓口で配布しています。

募集期間 4月1日(水)～5月1日(金)まで

※実施に当たっては令和8年度予算の成立が前提となるため、予算措置がない場合は補助に至らない場合があります。

応募・問合せ先 総務企画課企画財政室

☎0470-55-4801

まちづくりに関するアンケート調査

町では、よりよいまちづくりを目指し、町民の皆さんの町政に対する意識調査を実施しています。

お答えいただいたご意見は、今後の町政運営の基礎資料として活用させていただきます。

調査対象 町内にお住まいの方

調査方法 ①インターネットアンケート

右の二次元コードから回答ください。

<https://logoform.jp/f/YG65N>

②町内公共施設での調査票の配布・回収

調査期限 3月31日(火)



配布場所 役場、中央公民館、B&G海洋センター、保健福祉総合センター「すこやか」、老人福祉センター「笑楽の湯」

問合せ先 総務企画課企画財政室

☎0470-55-4801

鋸南病院だより【第57回】 お電話での問い合わせ時間につきまして

平素より当院をご利用いただき誠にありがとうございます。

当院の診療受付時間は午前8時15分からとなっております、

午前8時15分には大勢の患者様がお来院され大変混み合う状況となっております。

そのため、3月1日からは、お電話による受診等のお問い合わせ時間を、午前8時30分より午後5時までとさせていただきます。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

問合せ先 鋸南病院 ☎0470-55-2125



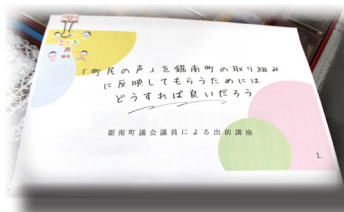
小・中学校と町議会がコラボした出前授業 「こどもの声 議会を開こう」

「自分たちの手で地域をつくる」という意識を次世代へつなぐため、町立小・中学校を対象とした『こどもの声議会を開こう』プログラムが始まりました。

この取り組みは、学校側の「民主的な意思決定を体験させたい。」という狙いと、町議会の「若者のシビックプライド(郷土愛)を育てたい」という想いが合致して、実現しました。

実施された授業では、役場や議会の役割(二元代表制)、町政のプロセス、町政への意見の提出手段、子どもたちも含めた住民全員が主権者であること、25歳になったら議員や町長に立候補が出来ることなどを学習。

座学の後は、子どもたちが自分の言葉で議員に「声」を届けました。



- ～ 小学6年生たちの「声」～
- 自転車や徒歩で、近隣の町などに安全に行ける道が欲しい
 - 事故発生箇所に対策をして欲しい
 - デコボコの道路を直して欲しい
 - 子どもが気軽に入れるお店が欲しい
 - 広くて遊具もある芝生公園が欲しい

このプログラムは、来年度から本格導入され、議会で継のアーカイブ映像の視聴なども計画されています。

近い将来、実際の議場に子どもたちの声が響き、町の未来を共に描く日が来ることになりそうです。

- ～ 中学2年生たちの「声」～
- 若い人が増えて、働き手が増えるといいな
 - 公園やスケボーパークが出来て、遊び場が増えるといいな
 - 少子高齢化を解消したいな
 - イメージキャラクターをもっと有名にするなどして、町の知名度を上げたいな
 - 大々的に、町のよさを押し出したい！



農業従事者&地域食材ハンターによる 五感授業と鋸南鍋 ～保田しおさい学校～

鋸南中学校の向かいに、保田しおさい学校があります。健康課題がある小学3～6年生の子どもたちが回復を目指す、東京都葛飾区立の全寮制学校です。日頃から、530運動や祭礼など、町内の行事に積極的に参加されています。



1月28日、農業従事者の加藤^{ひろお}浩生さんと、町の美味しい農作物をつくる人とそれを食べる人とをつなぐ活動をしている「地域食材ハンター」の皆さんが、ゲストティーチャーとして、保田しおさい学校の4時間目の1コマを受け持ちました。JA安房で担い手指導もされている加藤さんから、「どの部分が種になるのか?」「ルーツが同じ野菜は?」などを教わった子どもたちは、前のめりで「水菜は何科ですか?」「加藤さんは何種類の野菜を作ってるんですか?」と、積極的に質問しました。

この日の給食は、鋸南産の野菜6種をふんだんに使った『鋸南鍋』。子どもたちは「野菜が甘くておいしい!」「カリフラワーが柔らかい!」と大喜びで、多くの子がおかわりをしていました。根や外葉がついたままの野菜を見て、香りを嗅ぎ、種に触れ、お話を聞いてから、おいしく味わう…。五感をフルに使って学ぶ、特別な授業となりました。



皆さんの活動や取り組みのことも取材させてください ●地域おこし協力隊(広報・広聴担当) 楠木かおり
 情報提供はメールにて kouhou@town.kyonan.chiba.jp



すこやか便利

高齢者虐待について悩んでいませんか？

高齢者虐待は年々増加し、社会問題となっています。高齢者虐待とは、高齢者が養護者等から不当な扱いにより、権利利益を侵害されたり、生命、健康、生活等が損なわれたりすることです。高齢者の中には辛くて不満があっても、声を出せない人がいます。虐待と思われる状況を確認したら、迷わずご相談ください。

高齢者虐待は暴力的な行為ではありません

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」では5つに分類しています。

- 身体的虐待**・・・叩く、つねる、殴る、蹴る、無理やり食事を口に入れる、ベッドに縛りつける、部屋や家の外側から鍵をかけるなど
- 心理的虐待**・・・怒鳴る、子供のように扱う、無視するなど
- 介護・世話の放棄・放任**・・・十分な食事や水分を与えない、必要な治療や介護を受けさせない、劣悪な住環境（冷暖房を使用しない、ゴミだらけ）の中で生活させるなど
- 性的虐待**・・・わいせつな行為をする、わいせつな行為をさせるなど
- 経済的虐待**・・・本人の合意なしに財産や金銭を使用する、必要な金銭を使わせないなど

高齢者虐待はなぜ起きるのでしょうか

高齢者虐待の背景には高齢者が認知症や重度な要介護状態であることや経済的に困窮状態にあるなどの理由で、養護者も心身ともに疲れ切って、追い詰められている状況が少なくありません。近隣との付き合いが少なく地域から孤立しているなど様々な要因が絡み合っています。

介護の負担、ひとりで抱えていませんか

高齢者の介護は長期間になるほど介護する人に大きな負担がかかります。一人で悩んだりせず、家族や近所のひとに協力を求めたり、地域包括支援センターにご相談ください。

高齢者の虐待を見つけたら連絡をください

高高齢者虐待は早期発見と対応が大切です。「家の中から大声で怒鳴っている声が聞こえる」、「顔や腕などに不自然なアザが多くみられるようになった」など「様子がおかしい」、「ちょっと心配」など虐待かもしれないと思った場合は地域包括支援センターへご連絡ください。

問合せ先 地域包括支援センター ☎0470-55-1173

富士山の噴火

日本の象徴である富士山ですが、活火山であることは知られています。美しい円錐形の形は、噴火のたびに流れた溶岩でできたものなのです。

古い記録によれば、奈良時代から現代まで、富士山の噴火は17回も記録されています。一時的に火山性地震が活発になり、噴火することが多く、噴火の間には平穏な期間が数百年続くことがあるのが特徴です。

最後の噴火は、江戸時代の宝永四年（一七〇七）に起こった宝永大噴火です。この前後には地震も群発し、噴火は約二週間続き、江戸市中にも大量の火山灰が降り積もりました。以来、約三二〇年平穏な状態です。

実は富士山に限らず、全国的に火山活動が活発だったのが平安時代です。各地で地震や噴火がひんぱんに起こりました。

平安時代の貞観六年（八六四）、富士山の大噴火が起こりました。記録に残る最も大きな噴火で、貞観大噴火と呼ばれています。記録によると、大量の溶岩を噴出し、噴火の勢いが激しく、

1、2里（4〜8キロメートル）の山々を焼きつくし、また大きな地震が三回あり、十日以上も火の勢いがおとろえず、砂や石が雨のように降ったと伝えられています。

流れ出した大量の溶岩で大きな湖が分断され、現在の西湖と精進湖ができました。溶岩で埋めつくされた青木ヶ原樹海ができたのもこの時です。

この噴火は二年あまりも続いたようです。対岸から見る富士山の大噴火に、安房の人たちもさぞ恐ろしかったことでしょう。



▲鋸南から見る富士山

防災の豆知識 第36回

町内団体のボランティア活動の紹介2

前号に引き続き「鋸南復興アークセラレーション」の紹介をします。災害ボランティア活動は、日常からの防災啓発活動においても力を発揮しています。今回は、そのような日常において町内で実施されている活動について紹介します。

当団体は、放課後子ども教室で「防災教室」を実施しております。目的は、主に子どもたちの「防災意識の向上」。「自分の命は自分で守る」という主体的な意識が、地域全体の防災力を高めることにつながると考えています。

以前行った放課後子ども教室では、防災カードゲーム「なますの学校」を使い、災害にあったときに役立つことを考えてもらいました。「地震で、中にいた人がタンスの下敷きになりました。何をすれば、この人を助けることができますか?」こんな問いを前に、子どもたちはカー

ドを選んでいきます。「ボール」「角材」の絵が書かれたカードを持ってくると高得点。身近なものを使って生き延びる知恵と、共助を学ぶことができます。

また、昨年12月の鋸南町社会福祉協議会の防災イベントでは、「防災ワイズ&チャレンジシールラリー」を実施。ダンボールで防災トイレを作成したり、救援物資を運ぶシミュレーションをしました。参加者は「教わったことを災害に生かしたい」と感想を話していました。

このような活動にご興味のある人は、「鋸南復興アークセラレーション」のフェイスブックでお問い合わせしてみてください。知見や仲間を増やすことも重要な防災活動です。



地域おこし協力隊通信

町の地域おこし協力隊は現在5人。今回は、「お花の協力隊員」坪木さんに近況を教えてくださいました。

水仙の香り抽出に挑戦！

昨年、町が誇る花である日本水仙の香りをなんとか抽出できないかと思い立ち、花の蒸溜を試みました。しかし、繊細な花の香りは高熱がかかる蒸溜には向いておらず、壁に当たりました。

今年はその反省を活かして、古代から伝わる熱を加えない香りの抽出法「アンフルラージュ（冷浸法）」に挑戦しています。

あわせて市井原の遊休農地の開拓にも取り組み、草刈りや伐採、抜根、整地を重ねながら、試行錯誤の日々を送っています。

地域の方の話を手がかりに、かつての姿を思い描きつつ、土と向き合っています。



つぼき
▲坪木 舞衣 隊員
農業振興(花卉)担当



▲J A安房さんの広報誌に、スマイルファーマーとして掲載していただきました

◇問合せ先 / 地域おこし協力隊(広報・広聴担当) 楠木かおり E-Mail: kouhou@town.kyonan.chiba.jp



てらもと すい
寺本 翠ちゃん

1歳6か月

寺本 理人さん・南津子さん
第3子 中原区

食べることとお散歩が大好き！お話も上手になったよ。
優しいお兄ちゃん達がたくさん遊んでくれて
サッカーも一緒にやるんだあ。
プリンセスが大好きだからいつかディズニーに行きたいな！



町報きよなん有料広告募集

種類	サイズ	掲載料
1種	縦45ミリ×横85ミリ	5,000円
2種	縦45ミリ×横174ミリ	10,000円
3種	縦94ミリ×横85ミリ	10,000円

問合せ先 総務企画課企画財政室 ☎0470-55-4801

人の動き 2月1日現在(前月比)

人	□ 6,531人	(-9人)	出生	0人
うち男	3,171人	(-3人)	死亡	14人
女	3,360人	(-6人)	転入	13人
世帯数	3,402世帯	(-10世帯)	転出	8人

誌面で掲載した記事は、中止や内容が変更となる場合がありますのでご了承ください。

ホームページ
https://www.town.kyonan.chiba.jp/

公式フェイスブック
@kyonanmachi

公式エックス
@kyonan_machi

公式ライン
@kyonanmachi

公式インスタグラム
kyonan_life

メールマガジン
https://www.town.kyonan.chiba.jp/mailmaga/